



## 有明山

「**中信署**」長野県安曇野市の中房国有林にある有明山は、北アルプスの前衛に位置し、「北岳」「中岳」「南岳」の三峰から成り立ちます。三角点は北岳と中岳の間にあり、標高は二、二六八<sup>米</sup>とそれほど高い山ではありませんが、安曇平から見える姿が富士山に似ていることから「有明富士」「安曇富士」または「信濃富士」などと呼ばれています。

古来より歌枕として「かたしきの衣手寒く時雨つつ有明山にかかる白雲」と和歌に歌われ、「安曇節」の一節に「なにを思案の有明山に小首か上げて出たワラビ」とあることから、昔から地元の人々に親しまれている山だということがわかります。

また、有明山には伝説があり、天照大神が岩戸に籠もって天下が暗闇になったとき、手力雄命がその岩戸を投げ、この地に落ちた岩が山になったとされています。その際、天下が再び明るくなったことが山名の由来だといわれています。



麓から望む有明山

そのため、山岳信仰の山としても知られており、山麓には有明山神社が置かれ、山頂にも奥社があります。毎年七月には神社主催の参拝登山も行われており、多くの人々が奥社まで参拝をしています。山頂までは、黒川沢を登る「表参道」、県道中房線（通称）の終点付近から登る「裏参道」、松川村の馬羅尾国有林から登る「松川コース」の三つのルートがあります。

どの登山道も急峻で、登山口から山頂までは四時間から五時間以上は掛かり、避難小屋等も無いため、体力に自信がない方や山登り初心者には、ちょっと難しい山ですが、登山道沿いには小さな滝がいくつもあり、山頂からは北アルプスの燕岳や大天井岳を望むことができます。また、六月頃にはピンクや白色のシヤクナゲの花が咲き、登山者の疲れを癒してくれます。



妙見滝（表参道）

### ◆アクセス

（所在地）長野県安曇野市穂高有明

### ○表参道口

豊科インターから国道二四七号を経て中房方面へ

有明山神社から車で約五分

### ○裏参道口

表参道口よりさらに中房方面へ

県道中房線（通称）終点の登山者用駐車場へ

有明山神社から車で約三十分

※県道中房線（通称）は、十二月上旬から四月下旬まで冬期間閉鎖

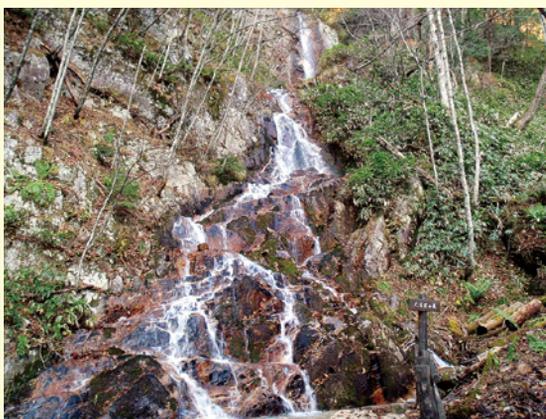
### ○松川ルート

豊科インターから国道二四七号を経て松川村馬羅尾キャンプ場方面へ

J R 大糸線「信濃松川駅」から車で約二十分



不動滝（松川コース）



たる沢の滝（裏参道）



白河滝（表参道）